

科目名		法学	教員名	横山 博子	学科等	共通	選択	履修年次	1
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー	第一・火3・B322	
授業概要		本講義では、日本国憲法を中心として、法のしくみと法の背景にある考え方を学ぶ。法を身近なものとして理解するために、事例（判例を簡略化したもの）を中心に講義する。							
目的・目標		1 日本国憲法における統治機構及び基本的人権の考え方を知る。 2 条文や判例に慣れる。 3 法的観点から社会に対する関心を持つことができる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容						
	1	法律を勉強するとは	到達目標:法律の全体像と生活での役割を理解する。 学習内容:権利、義務、要件、効果、私法、公法の意味を学習する。						
	2	憲法①	到達目標:日本国憲法の成り立ちと位置づけを説明できる。 学習内容: 憲法の制定過程と構造を学習する。						
	3	憲法②	到達目標:精神的自由として保障される対象を説明できる。 学習内容:精神的自由(表現の自由)を学習する。						
	4	憲法③	到達目標:精神的自由として保障される対象を説明できる。 学習内容:精神的自由(信教の自由)を学習する。						
	5	憲法④	到達目標:経済的自由の内容とその制限を説明できる。 学習内容:経済的自由(職業選択の自由、営業の自由)を学習する。						
	6	憲法⑤	到達目標:社会権とは何かを説明できる。 学習内容:生活保護法、労働基準法、労働組合法を学習する。						
	7	憲法⑥	到達目標:一票の格差問題、衆議院の優越、議院内閣制を説明できる。 学習内容:国会、内閣、選挙制度を学ぶ。						
	8	憲法⑦	到達目標:三審制、地方自治の本旨を説明できる。 学習内容:裁判所、地方自治について学ぶ						
	9	憲法⑧	到達目標:象徴天皇、憲法9条の政府解釈、改正の手続きを説明できる。 学習内容:天皇、平和主義、憲法改正を学ぶ。						
	10	民法①	到達目標:民法の扱う内容と夫婦と親子間の権利義務を理解する。 学習内容:婚姻の成立・効果、離婚の要件・手続き、親権、扶養義務を学ぶ。						
	11	民法②	到達目標:取り消し、無権代理、債務不履行に基づく損害賠償を説明できる。 学習内容:権利を侵害された場合の救済手段を学ぶ。						
	12	民法③	到達目標:連帯保証、物上保証の効果、破産の手続きを説明できる。 学習内容:信用が不足する場合の対応を学び、日常の落とし穴を知る。						
	13	民法④	到達目標:相続人、相続分、特別受益、遺言、遺留分を説明できる。 学習内容:相続の基礎とその手続きを学ぶ。						
	14	民事訴訟	到達目標:応訴義務、書証の重要性、上訴、差し押さえを説明できる。 学習内容:民事訴訟制度を学び、訴訟に巻き込まれた場合の注意点を知る。						
	15	刑事訴訟	到達目標:令状主義、逮捕勾留、黙秘権、接見交通、調書を説明できる。 学習内容:刑事訴訟制度を学び、事件に巻き込まれた場合の注意点を知る。						
成績評価の方法・基準		(対面・オンライン共通) 授業時の小テスト(50%) + 期末レポート(50%)							
教科書		一步先への憲法入門(第3版)			片桐直人、井上武史、大林啓吾		有斐閣		
参考図書		適宜指示する。							
教員からのメッセージ		授業では頻繁にみなさんの考えをお聞かせします。また講義内での小レポートにはコメントをつけて授業内で返却します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							